

**令和4年度 第30回全国中学生空手道選手権大会  
兼 燃ゆる感動かごしま国体空手道競技リハーサル大会 実施要項**

- 1 大会名 令和4年度 第30回全国中学生空手道選手権大会兼  
燃ゆる感動かごしま国体空手道競技リハーサル大会
- 2 主催 (公財)全日本空手道連盟 全国中学校空手道連盟 薩摩川内市 薩摩川内市教育委員会  
燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会
- 3 主管 鹿児島県空手道連盟 鹿児島県中学校空手道連盟
- 4 後援 スポーツ庁 (公財)日本オリンピック委員会 (公財)日本スポーツ協会  
(公財)日本武道館 (公財)日本中学校体育連盟 全日本空手道連盟九州地区協議会  
鹿児島県 鹿児島県教育委員会 (公財)鹿児島県スポーツ協会  
(特非)薩摩川内市スポーツ協会 (公財)エネルギー文化・スポーツ財団  
NHK鹿児島放送局 (株)南日本放送 (株)鹿児島読売テレビ (株)鹿児島放送  
鹿児島テレビ放送(株) (株)南日本新聞社 (順不同、以上予定)

5 期日・会場

- (1) 期日 令和4年8月26日(金)～28日(日)
- (2) 会場 薩摩川内市総合運動公園総合体育館 サンアリーナせんだい  
〒895-0214 鹿児島県薩摩川内市運動公園町3030番地  
TEL0996-25-8282
- (3) 受付 令和4年8月26日(金)  
受付開始時間：11:00～  
受付会場：サンアリーナせんだい正面玄関中ホール内  
(注) 新型コロナウイルス感染症防止対策により、施設入館者全員、検温受付にて検温を行い、「連絡先確認用紙兼健康管理チェックシート」を提出して入館して下さい。(検温37.5°超は入館禁止といたします。)  
なお、各都道府県の代表監督には、都道府県別の袋(プログラム、参加記念品、IDカード、監督資料等)を配布いたします。(学校毎の受付中止)

(4) 競技日程

8月26日(金)大会1日目	8月27日(土)大会2日目	8月28日(日)大会3日目
サンアリーナせんだい (開場11:00)	競技開始 9:00～(開場8:00)	競技開始 9:30～(開場8:00)
11:00～入館可 会場視察のみとし、練習不可	個人形 8:00～入館可 団体形 11:00～入館可 個人組手 15:00～入館可	個人組手 8:00～入館可 団体組手 9:00～入館可
開会式 中止	競技終了予定 19:00	終了予定 16:00

(5) 会議

会議名	日時	場所
審判研修会	8月26日(金) 13:30～14:00	サンアリーナせんだい サブアリーナ
審判会議	8月26日(金) 14:00～14:45	サンアリーナせんだい サブアリーナ
代表監督会議	8月26日(金) 15:00～15:30	サンアリーナせんだい サブアリーナ

※監督全員による会議は行わず、代表監督会議(各都道府県代表2名以内)とする。

- (6) 練習会場 8月26日(金) なし(県内や近隣等で、練習会場として個別に予約しないこと)  
27日(土) サンアリーナせんだい 武道場(練習時間 8:00～17:00)  
28日(日) サンアリーナせんだい 武道場(練習時間 8:00～14:00)  
(注) 27日(土)及び28日(日)については、競技種目毎に入館制限あり。

6 競技種目

	組手競技		形競技	
	団体組手	個人組手	団体形	個人形
男子	団体組手	個人組手	団体形	個人形
女子	団体組手	個人組手	団体形	個人形

## 7 競技規定

(公財) 全日本空手道連盟組手競技規定・形競技規定及び全国中学校空手道連盟申し合わせ事項による。

## 8 競技方法

- (1) 組手競技はトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。形競技は、得点制で行う。
- (2) 団体組手競技、団体形競技は、学校対抗で登録選手5名までの3人制とし、混成チームは認めない。  
また、1校1チームとする。登録された選手のオーダー変更は回戦ごとに自由とする。なお、団体組手は2名でも参加可能とするが、対戦するチームが双方2名の場合は、オーダーは先詰めとする。

### (3) 組手競技について

- ① 6ポイント差とし、競技時間は1分30秒間フルタイムとする。
- ② 安全具は、(公財) 全日本空手道連盟検定の拳サポーター(赤・青)、ボディプロテクター、マウスシールドを着用したニューメンホー(VI、VII)、シンガード・インステップガード、男子はファールカップを着装すること。

シンガード・インステップガードは白色の物で、(公財) 全日本空手道連盟検定のミズノ(株)、(株)東海堂、(株)ヒロタ、(株)守礼堂の各社製とする。ただし、高体連用のインステップガード新製品(全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年新製品)は使用可とする。

- ③ 団体組手において、登録された選手のオーダー変更は回戦毎に自由とする。

### (4) 形競技について

- ① 本大会は形審判員による、形の新たな得点制システムを採用することとし、各審判員の技術点及び競技点は、それぞれの点数の5.0~10.0の間で採点する。
- ② 参加人数により、グループ数を決定する。1グループあたりの人数は、13人・13チーム以下とする。
- ③ 1人・1チームずつ演武する。
- ④ 各グループの上位4人・4チームが次のラウンドに進出する。
- ⑤ ROUND1は第一指定形、ROUND2は第二指定形、準決勝及びメダルマッチは得意形とする。各ROUND、準決勝及びメダルマッチの演武する形が連続しなければ、同じ形を演武しても良く、各ROUND、準決勝及びメダルマッチでの再試合の場合、同じ形を演武しても良い。

- (5) 赤帯・青帯は(公財) 全日本空手道連盟で検定された帯を各自必ず持参し、使用すること。

※氏名、所属等の表示を認める。所属の表示は、「全日本空手道連盟」または「都道府県空手道連盟」、「所属中学校名」とすることが望ましい。※帯止めは使用しない。

### (6) 服装について

- ① 選手は、競技規定に沿った清潔な白の空手着を着用すること。上衣の左胸に学校名(20cm×8cm程度)、左袖に都道府県名を記入する。色は黒色とするがスクールカラーの使用は認める。  
上記の他、氏名、ラベル以外の表示は認めない。  
ゼッケンは事前に郵送されたものを競技開始までにしっかり背中に縫いつけること。ゼッケンのないものは参加できない。
- ② 監督は、白の空手着とする。監督IDカードは、代表監督に交付する。
- ③ 代表監督会議に出席する際は、審判員に準ずる服装(ブレザー不要)または白の空手着とする。
- ④ 監督、選手は品位ある態度で競技に臨むこと。選手は、染髪および脱色、ピアス、過度の空手着の変形等、競技者としてふさわしくないと判断された場合、参加を取り消す。  
※空手着上衣の腰部の紐を結ぶこと。空手着上衣の胸部の紐はつけない。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症防止対策として、選手は待機時にマスクを着用し、また、監督はマスク及びフェイスシールドを着用すること。

## 9 表彰 個人種目・団体種目ともベスト8まで表彰する。

## 10 審判員 大会審判団は、(公財) 全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

- (1) 選手が参加する都道府県は、最低1名の審判員を推薦し派遣すること。  
なお、各都道府県が推薦する審判員は、全国組手審判員及び都道府県形審判員以上の資格を有すること。
- (2) 大会審判員に不足が生じた場合は、開催地区協議会から選出し委嘱する。
- (3) 審判員に係る経費は、大会実行委員会では負担しない。
- (4) 派遣審判員は、参加申込書(表紙)に記入し、参加申込みと同時に提出する。

## 11 参加資格

- (1) 選手は、所属する中学校所在地の都道府県中学校空手道連盟または都道府県空手道連盟を通して、(公財) 全日本空手道連盟に登録している会員であり、(公財) 全日本空手道連盟公認段級位を保有していること。
- (2) 所属する都道府県中学校空手道連盟または都道府県空手道連盟の主催による予選会において選抜された選手またはそれらの連盟の承認を受けた選手であること。
- (3) 各都道府県(都市大会を含む)予選会並びに全国大会の参加は、選手本人の住所ではなく、個人・団

体とも所属中学校単位であること。

※都道府県の予選会に参加する選手には、事前に（公財）全日本空手道連盟個人登録をさせること。

- (4) 監督は、「当該中学校の教員及び**校長が認める指導者**」、若しくは「（公財）全日本空手道連盟に登録している会員で、（公財）日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、または県組手審判員以上の資格を有する者」であること。

## 12 参加制限

- (1) 各都道府県の参加数は下記の通りとする。

種 目	参 加 数	
	開催県	各都道府県
男子団体組手	4チーム	2チーム
女子団体組手	4チーム	2チーム
男子個人組手	4名	2名
女子個人組手	4名	2名
男子団体形	4チーム	2チーム
女子団体形	4チーム	2チーム
男子個人形	4名	2名
女子個人形	4名	2名

※個人種目において(3)(4)に該当する選手は規定の「参加数」に追加できる。

- (2) 各参加のチーム編成は下記の通りとする。

個人種目 選手1名	監督	コーチ
	1名	1名
団体種目 登録選手5名以内	監督	コーチ
	1名	1名

※監督は、複数のチームの監督を兼ねることができる。

- (3) 第29回大会で個人種目ベスト8に入賞した選手及び第16回全国中学生空手道選抜大会優勝者は指定選手として参加権をもちシードする。

第26回大会で団体種目ベスト4に入賞したチームは参加権をもちシードする。

- (4) 令和3年度公益財団法人全日本空手道連盟ジュニア強化選手は、指定選手として参加権をもちシードする。  
(5) 令和4年度全日本カデットナショナルチーム選出選手。

※上記(3)(4)(5)に該当する選手であっても、各都道府県からの申込みが必要である。

※上記(3)(4)(5)に該当する選手については、別紙参照。

## 13 参加申し込み

- (1) 申し込み方法

各都道府県中学校空手道連盟または各都道府県空手道連盟が取りまとめて行う。

- ①全国中学校空手道連盟ホームページよりダウンロードした参加申込書を当該校(関係者)に送付・送信する。

全国中学校空手道連盟ホームページ <http://jjkf.net/>

## 14 組み合わせ抽選

令和4年7月10日(日)、全国中学校空手道連盟および大会実行委員会において行う。

※抽選結果は、令和4年7月25日(月)までに全国中学校空手道連盟ホームページに掲載する。

## 15 参加費

- (1) 団体種目は1チーム1種目15,000円、個人種目は1人1種目5,000円とする。

なお、団体種目参加者が個人種目に参加するときも、個人の参加費を必要とする。

- (2) 各都道府県中学校空手道連盟または各都道府県空手道連盟で取りまとめ、下記口座に振り込むこと。  
郵便局備え付けの「払込金受入票」にて払い込むと送料が安く、通信欄に内容を記す事ができる。

(銀行からの振込みの場合は、受領書のコピーを参加申込用紙に添付すること。)

- (3) 振込先 【金融機関名】 ゆうちょ銀行  
【店番】 088  
【店名】 ○八八(ゼロハチハチ)  
【預金種目】 普通預金  
【口座番号】 1397399

【口 座 名】 全国中学校空手道連盟／ゼンコクチュウガツコウカラテドウレンメイ

(4) 参加費納入締め切り 令和4年6月24日(金) 必着

(注-1) 本人の都合による棄権は参加費を返却しない。

(注-2) 新型コロナウイルス感染症防止対策により、参加申込締切後に緊急事態宣言が発令され、大会中止となった場合は参加費を全額返戻でない場合がある。

16 宿泊・弁当申込

大会中の諸連絡及び不測の事態の際に連絡を徹底するため、別紙案内の指定旅行者による斡旋宿泊施設及び大会専用弁当の注文を利用すること。外部からの弁当持ち込みについては、食中毒防止と会場美化の観点から原則禁止とします。(各自持ち込みの発生ゴミは全て持ち帰りとします。)

17 傷害処置及び対策

(1) 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を受けておくこと。また、本大会には必ず健康保険証を持参すること。

(2) 参加選手は全員スポーツ傷害保険に加入していること。また、「日本スポーツ振興センター」の適用に関しては、事前に学校に校外活動の申請をしておく必要がある。万が一事故があった場合は必ず学校に届け出ること。

(3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置をするが、その後の責任は負わない。

18 その他

各中学校のプラカードは使用しない。

全国中学校空手道連盟ホームページをご確認ください。

【ホームページ】全国中学校空手道連盟【検索】

**【新型コロナウイルス感染症防止対策について】**

(1) 感染拡大の状況及び緊急事態宣言発令によって、大会を中止する場合もある。

(2) 感染防止のため、主催者及び主管が定めた措置に従うこと。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として、入場者の制限を設定する。

(4) 「連絡先用紙兼健康管理チェックシート」の提出を義務付ける。(選手、監督、審判員、役員、係員)

(5) 参加の見合わせについて、参加者の体調がよくない場合(発熱、咳、咽頭痛など)の症状がある場合は参加しない。

(6) 同居家族や身近な知人に感染者が出た場合及び感染が疑われている場合は参加しない。

※参加選手及び関係者で、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合等。

(7) 写真撮影、サイン、握手、ハイタッチ、円陣などの禁止。

(8) グリーティング、出迎え、見送りの禁止。

(9) 物品の授受の禁止。

(10) 選手同士の声を出しての応援、アドバイスの禁止。

(11) 選手が整列する場合は、縦、横の間隔は1m以上確保すること。

(12) 退館時、ゴミは必ず持ち帰ること。

(13) YouTube ライブ配信予定。

以上